

# 一戸町の基金について

【R8.5.31現在】

一戸町の財政調整基金をはじめとした各基金（定額運用基金は除きます）の設置目的や残高、使いみち、積立方針等についてご説明します。

## 1 各基金の設置目的及び残高

※表示単位未満四捨五入の関係で積上げと合計が一致しない場合があります。

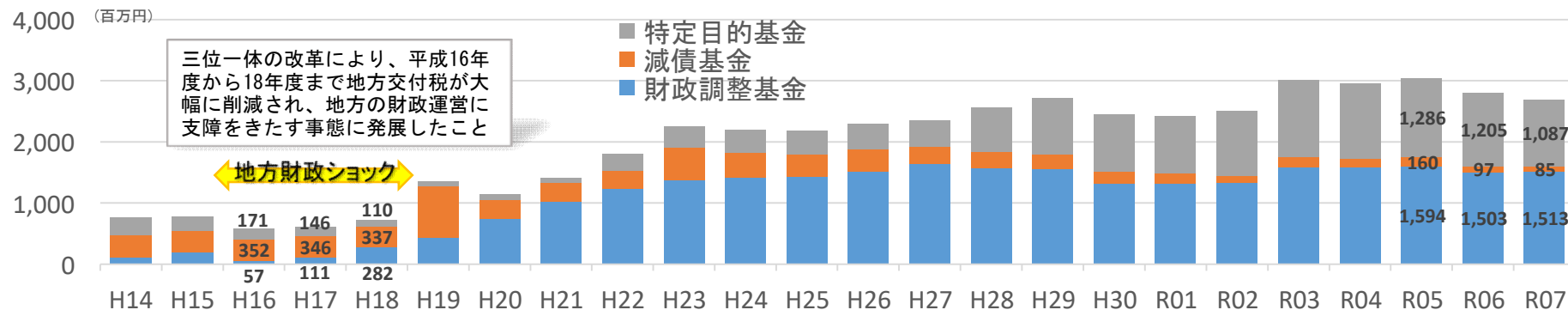
| 基金名                 | 設置目的                               | 残高(R8.5.31現在) |
|---------------------|------------------------------------|---------------|
| 財政調整基金              | 災害復旧、地方債の繰上償還、その他財源の不足を生じたときの財源    | 15億 1,323万円   |
| 減債基金                | 町債の償還（繰上償還含む）の財源                   | 8,549万円       |
| その他特定目的基金           |                                    | 10億 8,681万円   |
| (1) 地域づくり推進基金       | 地域づくり事業に必要な財源                      | 4,798万円       |
| (2) 公用公共用施設改修等基金    | 公用・公共施設の改修、改築等の資金                  | 8億 7,115万円    |
| (3) 災害に強いまちづくり基金    | 災害復旧復興、自主防災組織の育成、防災拠点の耐震化、災害見舞金の資金 | 4,437万円       |
| (4) 過疎地域持続的発展特別事業基金 | 過疎地域持続的発展計画に基づく事業の財源               | 6,539万円       |
| (5) 森林環境整備基金        | 森林整備、担い手確保、木材利用促進などの財源（森林環境譲与税が原資） | 5,793万円       |
| 合 計                 |                                    | 26億 8,553万円   |

## 2 令和7年度中の各基金の増減額及び取崩額の使いみち

※表示単位未満四捨五入の関係で積上げと合計が一致しない場合があります。

| 基金名                 | 積立額        | 取崩額        | 増減額         | 取崩額の使いみち                |
|---------------------|------------|------------|-------------|-------------------------|
| 財政調整基金              | 2億 5,991万円 | 2億 4,971万円 | 1,020万円     | 一般財源の不足の補填              |
| 減債基金                | 1,436万円    | 2,621万円    | △1,185万円    | 町債の償還                   |
| その他特定目的基金           | 1,558万円    | 1億 3,349万円 | △1億 1,791万円 |                         |
| (1) 地域づくり推進基金       | 31万円       | 1,614万円    | △1,583万円    | 地域づくり推進事業、住民協働推進事業等     |
| (2) 公用公共用施設改修等基金    | 611万円      | 8,491万円    | △7,880万円    | 奥中山高原施設改修、町営住宅改修、御所野改修等 |
| (3) 災害に強いまちづくり基金    | 28万円       | 16万円       | 12万円        | 災害見舞金、自主防災組織育成事業        |
| (4) 過疎地域持続的発展特別事業基金 | 54万円       | 3,229万円    | △3,175万円    | 公共施設解体撤去、新商品開発事業等       |
| (5) 森林環境整備基金        | 835万円      | —          | 835万円       |                         |
| 合 計                 | 2億 8,984万円 | 4億 941万円   | △1億 1,956万円 |                         |

### 3 基金残高の推移



これまで、経費節減などの行政努力により捻出した資金を、各基金へ、それぞれの目的に見合う額を目標に適宜積立してきました。そのため、当面は、明らかな不足や枯渇の危険はないものと想定しています。

### 4 財政調整基金の積立方針及び内訳

| 積立方針            | 必要と想定する額    | 積立を必要とする内容・根拠                                                                                |
|-----------------|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| ① 町税や地方交付税の減対応  | 8億 2,500万円  | 町税の減収や、地方交付税等の国からの収入減などによる一般財源不足への備えとして<br>※ 一般的に標準財政規模の10%～20%程度の備えが望ましいとされており、約15%分を見込みます。 |
| ② 大規模事業の財源      | 3億 5,000万円  | 旧朴館家住宅修繕・道の駅新設・奥中山高原施設改修などの大規模事業への備えとして<br>※ 国の補助金や有利な地方債を活用しますが、それ以外にもある程度の一般財源を要する見込です。    |
| ③ 災害への対応        | 2億 5,000万円  | 災害発生時に必要となる復旧事業費の備えとして<br>※ 令和5年度に実施した公共土木施設災害復旧費の事業費はおおよそ2億5,000万円でした。                      |
| ④ その他、突然の財政需要対応 | 8,823万円     | 上記以外の、突然の財政需要への備えとして                                                                         |
| 合 計             | 15億 1,323万円 | ①～③までの必要額を確保していることから、今後の積立は状況に応じて判断します。                                                      |

### 5 その他基金の積立方針

今後、公共施設の修繕や更新に係る費用が増加していくことが懸念されていることから、その財源とするために「公用公共用施設改修等基金」への積立を優先していきます。

また、老朽化や統廃合などで利用しなくなった公共施設の解体撤去も計画的に進めていく必要があることから、過疎対策事業債のソフト事業配分額の一部を原資として「過疎地域持続的発展特別事業基金」へも積立していきます。